お酒をやめるために

1)アルコール依存症について

- ①意思が弱いのではなく、飲酒欲求が高まりすぎて飲酒をコントロールできなくなる**病気**です。 (飲みだすととまらない・今日はやめておこうと思っても飲んでしまう)
- ②お酒が切れてくると色々な症状が出てきます。 (手の震え、動悸、イライラ、身体のだるさ、発汗 これらの症状が飲むと消える)
- ③このまま飲酒を続けると、ますます飲酒に関するコントロールが出来なくなり心身の状態が悪化していきます。

(肝障害、膵炎、高脂血症、高血圧、がん、痛風、狭心症、脳梗塞、うつ、認知症、等)

4断酒することで、回復していくことが出来ます

2) 断酒するために役立ちそうな方法 (あなたが使えそうな方法にチェックをつけて下さい)

三断本での	□通院する □抗酒剤、断酒補助薬を活用する □自助グループに参加する
危険を避ける方法	 □空腹を避ける→空腹を感じたら、アルコール以外のものを口にする □怒りを避ける→怒りを感じたら、一旦深呼吸。その場を離れる、10 ゆっくり数える、その時に「○○に違いない」などと決めつけない □孤独を避ける→家族や理解者と交流する、断酒している人と付き合う □疲労を避ける→仕事や活動が過重にならないよう、意識的に休憩をとる □暇を作らない→スケジュールをたて、趣味や片付けなど他の活動をする
での工夫	□酒類を自宅におかない □酒の席は避ける □飲酒したくなったら、酒の代わりに炭酸飲料水でのど越しの満足感を得る □これまでに飲んでいた店、買っていた場所、酒類を売っている店には近づかない □
その他	□断酒日記をつける □断酒生活で改善したことをメモする □断酒を宣言する □アルコール依存症を理解してくれる人と行動する □今飲めば、これまで我慢したことがもったいないと思う □

3)断酒日記(裏面にあります)

断酒日記は、お酒をやめることに大変役立つと言われています。断酒出来たら◎、出来なかった日には△をつけて下さい。うまく行った時とうまくいかなかった時、それぞれの状況を記録しておくと今後の役に立ちますので、状況についても記入しておくことがお勧めです。

(記載例)

月日(曜日)	結果	飲酒量	状況
8 / 21 (水)	0	なし	自助グループに参加した
8 /22 (木)	Δ	チューハイ5%500mℓ2本	イライラすることがあった
8 /23 (金)	0	なし	朝、抗酒剤を飲んでおいた

<断酒日記>

月日(曜日)		結果	飲酒量	状況
/	()			
/	()			
/	()			
/	()			
/	()			
/	()			
/	()			

結果の欄に断酒出来たら◎、出来なかった日には△をつけて下さい。

月	⊟ (曜日)		結果	飲酒量	状況
	/	()			
	/	()			
	/	()			
	/	()			
	/	()			
	/	()			
	/	()			

<断酒日記>

月	⊟ (曜日)		結果	飲酒量	状況
	/	()			
	/	()			
	/	()			
	/	()			
	/	()			
	/	()			
	/	()			

結果の欄に断酒出来たら◎、出来なかった日には△をつけて下さい。

月	⊟ (曜日)		結果	飲酒量	状況
	/	()			
	/	()			
	/	()			
	/	()			
	/	()			
	/	()			
	/	()			